

第36回岩手県中学校新人大会相撲競技・第64回岩手県高等学校新人相撲大会における 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

岩手県中学校体育連盟相撲専門部
岩手県高等学校体育連盟相撲専門部

新型コロナウイルス感染防止の観点から、以下に示す感染防止対策を講じ運営します。

1 大会開催における基本的な対応

- (1) (公財) 日本スポーツ協会及び(公財) 日本相撲連盟が示すガイドラインに沿って大会を運営する。
- (2) 大会出場は、生徒本人と保護者の同意を得ることとし、参加を強制しない。
- (3) 大会当日の会場への入場は、選手・監督・引率責任者・コーチ・保護者(2名まで)・学校関係者・役員・補助員・報道関係者のみとし、保護者以外の家族・一般観客は不可とする。
- (4) 本ガイドラインの内容は、感染状況によって変更する場合もある。

2 参加者(役員・選手・監督・保護者等)の対応

- (1) 大会前の対応
 - ア 大会参加者は、大会前2週間及び大会当日の検温・健康観察を行うとともに、日常生活での感染対策を徹底すること。なお、大会前2週間以内で以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせること。
 - (ア) 平熱を超える発熱(おおむね37.5℃以上)がある
 - (イ) 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状がある
 - (ウ) だるさ(倦怠感)がある、体が重く感じる、疲れやすい
 - (エ) 嗅覚や味覚の異常がある
 - (オ) 息苦しさ(呼吸困難)がある
 - (カ) 保健所から新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触者に特定された
 - (キ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
 - (ク) 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある
 - イ 選手は保護者の同意を得て参加することとし、事前に監督へ承諾書を提出すること。
- (2) 大会当日の対応
 - ア 参加者は受付で検温し、別紙「大会参加者体調チェックシート」を提出すること。
 - イ 参加者は必ずマスクを着用すること。選手においても、競技以外はマスクを着用すること。
 - ウ 大会中はこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと。
 - エ 他の参加者との距離を十分に確保すること。また、声を出しての応援は行わないこと。
 - オ 大会参加者は、感染防止のために主催者が定めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (3) 大会後の対応
 - ア 大会終了後2週間以内に感染症を発症した場合は、相撲専門部委員長に報告すること。

3 感染陽性者及び濃厚接触者等の対応

- (1) 感染陽性者は大会に参加することができない。保健所及び医師からの指示された健康観察期間(自宅待機)の解除後も、咳などの身体症状が残る場合は参加を自粛するなど、学校で適切な対応をすること。
- (2) 濃厚接触者は、保健所等で指示された健康観察期間(自宅待機)は、大会に参加することができない。
- (3) 濃厚接触者の疑いがあり、保健所等から「濃厚接触者に該当しない」と判断されるまでは、体調等にかかわらず、大会参加を見送ること。
- (4) 学校が休校措置になっている場合は、チーム及び個人(生徒)の大会参加を見送ること。また、学年閉鎖、学級閉鎖になっている場合は、当該学年、学級に所属する生徒の大会参加を見送ること。
- (5) チーム内で大会一週間前から前日に部活動が起因する小規模クラスターが発生したチームは、大会参加を見送ること。

